

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

資料 2-2-2

<色別表示の見方>

■:目標の推移が「順調」

■:目標の推移が「概ね順調」

■:目標への進行状況が「やや遅れている」

■:目標への進行状況が「遅れている」

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移					結果の分析	今後の方針	備考	(参考)
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		評価				平成24年度実績値
							目安値	実績値					
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	15	16	順調	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。	今後も多くの学校に事業の目的を説明し、体験教室を開催することによりボランティア意識の向上を図る。	目標達成	10
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	20,857	23,781	順調	二次予防高齢者施策では、介護予防に対する保健師・看護師の訪問体制の充実、職員のアプローチ技術の向上により、該当者の介護予防の必要性について理解が得られやすくなったことから、介護予防ふれあいサロン事業の参加者が増加した。一般高齢者施策では、積極的なPRを地区サロンや広報等で行ったことに加え、現に参加者の満足度が高いことから、参加者を通じた口コミによる伝播により、各事業の参加者が増加した。	今後もこの水準を維持していきたい。	目標達成	20,000
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	11	12	順調	障がい者の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、福祉サービス利用のための情報提供等を行う関係機関と支援会議を行うなかで、相談支援の充実が図られてきている。	相談支援事業所及び相談支援専門員等との連携協力するなかで、一人でも多くの相談支援専門員の資格取得をお願いし、障がい児(者)にとって必要な支援やサービスを提供し、満足度を高められるよう事業を実施していく。		11
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	5	順調	広報への掲載回数を年1回から2回に増やし、制度の周知に努めたことにより、受給者数が順調に推移している。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報への掲載を適宜増やし、諸制度の周知と利用拡大を図る。		5

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
46	421	健康増進	ぴんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,829	1,286	遅れている	野沢山門市は、観光客の方が多く市民が少ないため開催回数を減らした。また、冬季は戸外での開催のため、健康相談にふさわしくない環境であることから冬季の開催を減らした。平成25年度は保健補導員の全てのブロック研修14会場でぴんころ食の試食を含めた栄養講話(ぴんころステーション)を実施し、研修で興味を持った補導員の方が地域でも企画をし、ぴんころステーションを行った回数が多かったため、増加したと考えられる。	市内全域で活動している食生活改善推進協議会や保健補導員などとタイアップするとともに、若い世代へは小中学校の給食を介しながら、市内全域、さまざまな世代へぴんころ食を通した食育活動の拡大を図り、ぴんころステーションの開催数を伸ばしていく。		1,080
47			3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	24	25.12	やや遅れている	むし歯判定の基準について、長野県の通知により平成25年度から「サロライド塗布歯」の扱いを、サロライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったためと考えられる。	子どもの歯の教室や公民館主催の乳幼児学級、子育て支援課主催の子育てサロンなど、親子で参加する機会を活用し、歯科衛生士による歯予防のための歯科指導を行い、むし歯保有率の減少を図る。		20.89
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	21	集計中	実績値なし	現在集計中であるが、平成26年9月4日時点での速報値は25.4%となっていることから、割合は大きく変化していないと思われる。	医療機関との連携を図るとともに、特定保健指導や結果報告会での指導においては、フードモデルや手づくりの教材を使用することで、市民が自らの生活習慣の改善がイメージしやすい保健指導を心掛ける。また、保健指導を行う者についても、研修会に積極的に参加し、月1回の学習会で事例検討や国の動向、佐久市の現状等を把握し、スキルアップを図っていく。		26.6
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	40	7.00	遅れている	国の交付金事業である地方都市リノベーション事業採択のため、事業スケジュールを変更したことにより当初計画と比べ事業進捗が遅れている。	H29.3新中央棟開院という新たな事業スケジュールの管理を徹底するため、工事受注事業者との綿密な打合せにより、事業進捗を図る。		4.55

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	94	93.48	概ね順調	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理による税収の増、未申告者への申告勧奨での適正賦課	督促・催告書の送付及び臨戸訪問、全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨を行う。国保税を中心とする専任徴収員の配置を検討する。		91.78
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	98	98.00	順調	こんにちは赤ちゃん事業が地域に浸透している。	生後4か月以内に訪問できるよう、母子手帳交付時、パパママ教室時、出産での入院時、出生届出時等の機会に対象者全員に必要性を丁寧に説明していく。また、訪問不要の方については、その理由についてアセスメントし、対策を講じていく。		97.80
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	8,065	8,857	順調	育児講座や親子遊びの充実により利用者数が増加した。	育児不安の軽減を図るため、利用者アンケート結果や要望等についてスタッフ会議で検討し、事業に反映する。	目標達成	8,753
53			つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	15,379	14,206	遅れている	大雪の影響で開催日数が減少し、昨年度より参加者数が若干減少した。(H24:628回→H25:614回、14回減)	・参加者の要望が多い「リミック」を平成26年度から実施し、また、ベビーマッサージについては、乳児の参加が少なかったことから、幼児まで範囲を広げ、「ベビー・キッズマッサージ」として実施するなど、参加者からのアンケート調査を基に改善点についてスタッフ会議で検討し、参加者の増加を図る。 ・子育てサークル等の活動実態を把握し、場所を提供するなどの活動支援を行う。 ・県と連携し、仕事に対する不安や悩みを抱えた子育て世帯の女性に対して相談支援を行う。		14,370
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	309,985	273,510	遅れている	児童数の減少により児童館利用者数が減少している。	平成25年度の養護学校児童生徒の受入実績がないことから、養護学校PTAとの懇談会において保護者の希望等をお聞きし、児童館の受入体制等について検討を進める。		280,265

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移					結果の分析	今後の方針	備考	(参考)
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		評価				平成24年度実績値
							目安値	実績値					
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	Mkw/年	239,143 [H22]	191,315	215,230	232,069	やや遅れている	省エネやクールシェア・ウォームシェアについての広報により、市民においても省エネ行動は意識されていると考えられるが、近年の異常な暑さや、積雪量の増加などもあり、生活習慣の中で必要なエネルギー使用量が一定化されてきている。	近年の異常な暑さや、積雪量の増加なども勘案しつつ、市の広報やホームページ、FM放送などにより周知を強化するとともに、省エネ住宅・省エネ機器の導入促進につながる助成などを検討していく。		234,346
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	415,168	348,927	遅れている	夏場における猛暑、2月の大雪とそれに伴う高速道路の通行止め及び高速道路料金割引制度の変更等の社会情勢の影響を受けたため、平尾山公園の入場者の減少が見られた。	H21から公園の入場者が減少する中、25年度の昆虫体験学習館の入場者が夏季に限ると700人程増えている。公園利用者の増加を図るため、公園のイベント、企画展等に対するニーズの把握に努め、より効果的な企画を実施するように、公園管理を行っている指定管理者と協議をする。また、公園開設から約20年が経過し、施設の老朽化が見られることから、公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新を順次行う。		386,238
57			都市公園の整備面積	m ² /人	7.94 [H22]	9.82	9	8.49	概ね順調	市民交流ひろばの開園、佐久総合運動公園補助競技場等の整備により公園面積は増加している。	佐久総合運動公園の整備を計画どおり進めていく。		8.11
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	20,667	19,621	順調	資源物が減量している一方、分別不足により可燃・埋立ごみは増加している。	市民に対し可燃・埋立ごみの分別徹底を啓発強化し呼びかける。	目標達成	20,297
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,046	5,705	遅れている	資源物・可燃ごみ共に分別不足により増加している。	大量排出事業者に対し、直接ごみの減量・分別徹底を指導するなど、啓発を強化する。		5,754
60	522	上水道	上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	86	83.7	遅れている	平成25年度は83.7%となり、前年度と比較して0.5ポイント下回り、施設の老朽化等による漏水量の増加が考えられる。	水資源を有効に活用するため、有収率向上の施策を積極的に検討する。		84.2
61			水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	19	16.4	遅れている	水源水量、一日最大配水量ともに大きな変化がないことから、指標値はほぼ横ばいに推移している。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、適正な水源水量の確保に努める。		16.9

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						備考	(参考)	
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	平成24年度実績値
							目安値	実績値	評価				
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,971	2,952.8	やや遅れている	平成25年度は西屋敷地区、荒宿地区など6.52haの整備を計画的に行い、整備面積は増加している。	財政面も含めて未整備地区の優先順位を考慮し、整備促進を図っていく。	2,946.3	
63			水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	89	90.6	順調	消費税増税の要因によって新規下水道接続件数が増加したと考えられる。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に個別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。	89.5	
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	98	97.0	やや遅れている	口座振替の利用の依頼により、96.8%(24年度末)から97.6%に利用率が伸び、また未納者に対する訪問や催告通知など滞納整理の強化を行ったものの、平成25年度は年度末(2月)の大雪が影響し、交通に支障が生じたため、この時期の収納率が低下。翌年度収入にずれ込んでしまったことにより、現年度分下水道使用料収納率が目標値に若干達しなかった。	口座振替を推進するため、現金納付者の納入通知書すべてに推進チラシ及び口座振替依頼書を同封。また、滞納処分を視野にいれた滞納整理強化を検討する。	97.1	